

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3471501266
法人名	特定非営利活動法人 ほんまち平安の家
事業所名	グループホームほんまち平安の家
訪問調査日	平成22年2月3日
評価確定日	平成22年4月25日
評価機関名	(社福)広島県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3471501266
法人名	特定非営利活動法人 ほんまち平安の家
事業所名	グループホームほんまち平安の家
所在地 (電話番号)	〒720-0061 福山市丸之内二丁目5番6号 (電話) 084-928-7576

評価機関名	(社福)広島県社会福祉協議会		
所在地	〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2		
訪問調査日	平成22年2月3日	評価確定日	平成22年4月25日

## 【情報提供票より】(平成22年1月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成11年10月25日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	12 人	常勤	4 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 8.3 人

### (2) 建物概要

建物形態	<input type="radio"/> 併設/単独	<input type="radio"/> 新築/改築
建物構造	木造り	
	地上2階建	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	(日額) 300 円
敷金	有( 円)	<input type="radio"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,400 円

### (4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 90.2 歳	最低	81 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	西谷内科
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームほんまち平安の家(以下、ホーム)は、閑静な住宅街に位置し、近隣に神社や公園、橋など、利用者が散歩するのに恵まれた環境にあります。「個を大切に、ゆったりとした居心地のよい暮らしをさりげなく支援する」というホーム独自の理念のもと、利用者の日々の行動や表情から一人ひとりの思いの把握に努めるとともに、思いを訴えることが苦手な利用者に対しても、「無理をしない」「いやと言われたらまつケア」を進め、一人ひとりの思いをくみ取りながら日々のケアにつながられています。さらに、ホームの理念に沿ったケアを提供するため、職員全員に「入居者は理念に沿った暮らしをされていますか」を問うアンケートを実施し、日々の業務の中で理念を活かせるように取り組まれています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価の改善課題は、運営推進会議で報告、検討され、サービスの質の向上に努められています。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で話し合い、自己を振り返る機会として捉え、ホームの目標である「さりげない支援」を意識しながら、利用者一人ひとりにとって最善のケアとは何かを再確認されています。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、家族、民生委員、町内会長、地域包括支援センター職員、公民館長、福祉を高める会長、ホーム関係者など多数の参加を得て定期的に行われています。会議では、ホームの活動報告や評価の概況報告の他、家族、地域からの要望に対して話し合い、出された意見はサービスの質の向上に活かされています。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族が訪問されるたびに、報告や相談が行われます。また、日常の様子やホームの理念、職員全員の目標、行事案内など掲載した新聞「ほんまち平安の家(ニュース)」を年4回、家族、地域、地元医院、公民館、郵便局などへ100部配布しておられます。さらに、ホームでの暮らしぶりや様子が家族に伝わるように、職員の手書きミニレターを同封するなどして、家族の喜びや安心感につながられています。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	法人の理念である「施設を開放しコミュニティの核となる」をもとに事業所を開放し、毎週土曜日に「囲碁、紙芝居」、毎週火・金曜日は「自立のサロン・手芸教室」を開催し、地域に密着したホームとして、できることを活かした支援に努められています。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
		○地域密着型サービスとしての理念	法人全体の理念である「高齢者のための生活の場」「高齢者のためのいき届いた介護」「施設を開放しコミュニティの核となる」「地域福祉の発展に寄与」のもとに、「個を大切にゆったりした居心地の良い暮らしをさげなく支援」をめざし、ホーム独自の理念を掲げられています。		
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
		○理念の共有と日々の取り組み	理念はミーティングで唱和されています。ホームの理念に沿ったケアを提供するために、職員全員にアンケートを行い、1年の目標を決めておられます。また、職員一人ひとりが1年間の目標を定め、具体的に日々の業務の中で理念を活かせるよう取り組まれています。		
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
<b>2. 地域との支えあい</b>					
		○地域とのつきあい	法人の理念である「施設を開放しコミュニティの核となる」のもとに事業所を開放し、毎週土曜日に「囲碁、紙芝居」、毎週火・金曜日は「自立のサロン・手芸教室」を開催し、地域に密着したホームとしてできることを最大限に活かした支援に努められています。		
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
		○評価の意義の理解と活用	ホームとしての目標を定め、定期的に振り返りや見直しが行われています。自己評価にしっかり取り組むことで課題が明らかになり、職員一人ひとりに気づき生まれ、サービスの質の確保につながられています。		
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
		○運営推進会議を活かした取り組み	家族、民生委員、町内会長、地域包括支援センター職員、公民館長、福祉を高める会長、ホーム関係者など、多数の参加を得て定期的に行われています。会議では、ホームの活動報告や評価の概況報告のほか、家族、地域からの要望に対する話し合い、出された意見はサービスの質の向上に活かされています。		
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者との訪問協議を重ねるなど、密に連携をとり、サービスの質の向上を目指し取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問の都度、報告や相談が行われています。日常の様子やホームの理念、職員全員の目標、行事案内など掲載した「ほんまち平安の家(ニュース)」を年4回、家族、地域、地元医院、公民館、郵便局などへ100部ずつ配布されています。家族へは、ホームでの暮らしぶりや様子を書いた、職員の手書きミニレターを同封するなどされ、家族の喜びや安心感につながっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している他、2～3か月に1回、職員手製の料理を、学校給食方式で提供する食事会が企画されています。また、家族会やイベントの際にできるだけ本音を言ってもらえる場づくりに取り組まれています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、長く仕事を続けられるよう個々の事情に合わせたシフト編成で配慮されています。職員の異動が生じた場合は、利用者への影響を最小限に抑えるような職員配置を行い、利用者や職員のなじみの関係を築けるよう工夫されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に積極的に参加する姿勢を持たれています。また、研修に参加しやすい雰囲気づくりが行われている他、自主研修では、連携医療機関の看護師を講師として勉強会を行い職員のスキルアップと、ホームとしてのケアの向上につなげる体制をとられています。	○	外部研修の内容をもとに内部研修を開催するなど、知識や技術が職員に伝達されるような学習の場が、さらに深められることを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修をかねて他ホームと相互訪問を行い、情報交換や交流の機会を通してサービスの質向上に取り組まれています。さらに、グループホーム協会への参加、東学区を元気にする会「ぼちぼちネット蔵王の家」が企画する講演会、情報交換などを通じて、交流ネットワークづくりに取り組まれています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ミニデイサービスを体験してもらい、ホームの雰囲気に馴染めるよう取り組まれています。また、職員は日々の会話やしぐさの中から利用者が何を求めているかを判断・記録し情報共有するなど、さまざまな工夫を通して、利用者のホームでの穏やかな生活につながられています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として利用者から「学ぶ」ことを大切にしておられます。また、一緒に新聞を読んだり、テレビを見たりしながら、利用者の興味のある話を引き出すことによって、利用者職員と一緒に楽しみ、共に支えあう関係を築き、暮らしの支援につながられています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日々の行動や表情から一人ひとりの思いの把握に努めておられます。思いを訴えることが苦手な利用者に対しても、「無理をしない」「いやといわれたらまつケア」を進め、一人ひとりの思いを汲み取りながら日々のケアにつながられています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	医師、家族、管理者、職員でケアミーティングを開き、利用者にとって最良のケアが提供できるように取り組まれています。また、常に本人の立場にたった介護計画の作成を心がけておられます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々のケアを評価し、「アセスメント要約表」で課題を整理されています。見直しの際には、家族の意見も反映して、現状に即した計画となるよう工夫されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況、要望に応じてデイサービス、ミドルステイ、自立ショートを柔軟に対応されています。さらに「施設を開放し、コミュニティの核になる」という理念のもと、地域貢献を視野に入れ、地域の高齢者や障害者を一時的に預かる場所にしていきたいという思いを持たれています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の同意を得て、協力医療機関をかかりつけ医とされています。協力医療機関との連携が綿密で、必要に応じて訪問診療が受けられるように体制を整えるなど、利用者、家族が安心できるよう支援されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	初期の段階から、家族・医師との話し合いにより、重度化した場合における対応に関する方針が定められています。ホーム独自の看とり指針にて、全職員で方針を共有すると共に、終末期の在り方については、状況により異なるため今後の課題とされています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の暮らしの中で、利用者一人ひとりのプライバシーや尊厳を大切にされており、不適切な言葉かけや対応をしないよう、ミーティング、気づきノートなどで周知徹底されています。さらに、個人が特定できないように、職員同士の申し送りの際には、「PK」と呼称するなど、個人情報保護の徹底にも取り組まれています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先することなく、その日の体調に合わせて利用者一人ひとりのしたいことが、自分のペースでできるよう支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望、嗜好の把握に努め、利用者一人ひとりの好みを取り入れた食事のメニューが決められています。また、利用者の高齢化に伴い、一緒に調理することは難しい現状にあります。調理専門の職員を配置し、介護職員とは異なる視点で関わってもらうなど、専門職が関わりながら家庭的な雰囲気を作り出す工夫がなされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や習慣に沿って週3回、午後の入浴を基本とされていますが、状況に応じて随時入浴できるよう支援されています。また、無理強いをしないよう、気分を変えて「温泉に行きましょう」など言葉かけやタイミングを工夫して入浴できるよう支援されています。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月ごとに「買い物に行く」「歌を歌う」などの利用者一人ひとりの目標(楽しみごと)を立て、結果が利用者のその日のバロメーターとして利用者の健康管理に活かされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩のほか、ドライブを兼ねた「花見」「バラ公園」「初詣」など外出の機会をできるだけ増やし、季節の移り変わりを楽しんでいます。		
います。					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、玄関の鈴とさりげない見守りを行いながら、利用者の安全に配慮されています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム独自の避難訓練に加え、消防署主催の消防競技大会への参加、地元の中学校で行われる広域的な避難訓練への参加をするなど、日頃から地域の人々の協力を得られるよう取り組みがされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立をもとに、高齢者用メニューに変えて栄養バランスを考慮した献立が作られています。また、1日1200ccを目安に定期的に水分摂取を促すとともに、利用者の好みに合わせて個別に提供されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先にプランターを置き、リビングには季節を感じさせる花が活けられるなど、居心地のよい雰囲気となっています。また、利用者が自由に過ごせるよう廊下の片隅にソファを置き、利用者が思い思いの場所でくつろいで過ごせるよう工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できる限り自宅での暮らしが継続できるよう配慮され、居室には、使い慣れた家具や調度品、仏壇などが持ち込まれ、家庭と同じように安心して居心地よく過ごせる環境づくりが行われています。		



# 介護サービス自己評価基準

小規模多機能型居宅介護  
認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム ほんまち平安の家

評価年月日 2010年 2月 3日

記入年月日 2010年 1月 15日

※この基準に基づき、別紙の実施方法  
のとおり自己評価を行うこと。

記入者 職 代表/管理者 氏名 土田 直子

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

## I 理念の基づく運営

### 1 理念の共有

1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	事業所の理念の中に地域サービスが盛り込まれている ・施設を開放し、コミュニティの核となる ・地域福祉の発展に寄与		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	玄関、ボードなど見えやすい所に掲示しており、ミーティングでも確認している ミーティングで具体的実践を話し合っている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	玄関に掲示している 新聞にのせている 運営推進会議で発表している	○	集まりなどで、積極的にアピールしたい 又、新聞等にも掲げていきたい

### 2 地域との支えあい

4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内会の行事、作業にもこまめに参加したり、挨拶などする様心がけている	○	・挨拶をよりしっかりするよう心がけたい ・気楽に立ち寄ってもらえるイベントを考えたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	婦人会、敬老会の方が訪問して下さったり、敬老会、文化祭など参加している	○	2階が空いている時、地域の方が自由に利用できるようにしてもらいたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の高齢者を対象に、自立しておられる方のサークルや、囲碁サークルなど実施している	○	・介護教室など開催したい ・配食サービスや余暇活動支援などに取り組みたい
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員に評価に参加してもらい、ミーティングなどで話し合っ、具体的な目標設定し、実行している		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において報告はしているが、自由な意見を出してもらうまでにはなっていない。が、定期的な運営推進会議の開催と内容の充実をはかっている	○	なじみの関係を作り、自由な意見を出してもらえるようにしたい
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市担当者にわからない所など相談している	○	市担当者ともっと密に連携をとりたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	・研修会に参加したり、又マニュアルを各職員に読んでもらったりしているが、実際に活用できるような支援は出来ていない ・運営推進会議で研修会を実施した	○	権利擁護を話し合うシステムを作り、皆が学習できるようにしたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	・手引きを皆に目を通してもらうと共に日々の業務の中で常に意識して防止に努めている ・研修に積極的に参加してもらっている	○	勉強会など開いてしっかり具体的に話し合いたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約内容を十分説明すると共に、ゆっくり話を聞く時間を設けている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	利用者の意見を反映できていない	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見箱などを分かりやすく書きやすい所に置く</li> <li>ミーティングなどで利用者の意見が大切な事を話し合い、利用者の意見をしっかり聞いていきたい</li> </ul>
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	おたより、又面会時、又電話などを利用して報告している 面会時などに、よりこまめに家族の方への報告を心掛けている	○	面会時の職員とのコミュニケーションをよりしっかりとらせていただく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	投書箱を玄関に設置し、家族会などで意見をお聞きし、ミーティング、連絡帳などで皆に伝え考えてもらっている	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の方との意見交換の場をもっと設けたい</li> <li>家族からの意見が出るシステムを考えたい</li> </ul>
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングの時、意見を聞く時間を設けたり、意見ノートを用意している	○	個別に意見を聞く時間を設けたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた人数の中で時間をずらしたりしながら勤務の調整に努めている</li> <li>入居者の高齢化に伴い、介護がより必要な時間帯に職員を増やしたりしている</li> </ul>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動により補充が出来て質が向上している。又柱になる人の異動は少なく安定している		
5 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	講習会、研修会に職員を積極的に受講してもらっている	○	研修報告の充実を計っている 自主研修も充実させたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	全国認知症グループホーム協会、その他のネットワークにも所属していて情報の収集に努めている	○	情報をもとに会内に勉強会を波及させたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	・勤務時間に配慮してストレスの軽減を計りたいが、職員の適正配置とは言いがたい ・食事会などしてストレスの軽減を計っている	○	・適性職員の配置と、休養、娯楽の行事に取り組みたい ・ゆっくり休憩できる場所を確保したい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	職員に平等に接し、機会均等に努めている	○	職員の実績、勤務状況に応じ、ボーナスに反映したい
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	事前面接をしっかりと、それを全職員に共有している	○	・アセスメントをしっかりしたい ・職員皆で話し合う機会を作りたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	利用に至るまでの間も、電話確認等で話を聞く機会を作っているが回数は少ない	○	もっとこまめに連絡をとりたい
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	しっかりお話を聞いて対応しているが不十分	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネージャーとの連携をしっかりとりたい</li> <li>・本人、家族よりしっかり話を聞く時間を作る</li> </ul>
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	デイサービスを利用してもらいながら馴染んでいただくよう工夫している		
<b>2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	高齢化、重度化が進み、介護して差し上げるのみになっている	○	ケア・カンファレンスなどの中で支えあう関係を具体的にし、実行していく
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	今までお世話されてきた苦労をねぎらうと共に、お願いできる事はお願いしている	○	面会時などコミュニケーションをよりしっかりとっていききたい
29	○本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	家族と本人の関係を大切にし、関係の修復、橋渡しに努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	散歩やドライブで馴染みの場所へ行ったり、馴染みの人と話しやすい場面作りをしている	○	個人の意向をしっかりと引き出し、それを基に外出したい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の関係が出来ていない	○	職員の声かけ、気配りをして利用者同士の関係作りをしたい
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	時に訪問したり、訪問されたりしているが、時がたつと関係がきれてしまう	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等、継続的に送付したい</li> <li>・訪問されやすい雰囲気を作るようにしたい</li> </ul>
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃべりの中などから本人の意向を引き出し、それを皆で検討しているが不十分</li> <li>・ケアカンファレンスを通して把握に努めている</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの介護計画を充実させたい</li> <li>・寄り添う中で思いや意向を把握したい</li> </ul>
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	経過記録、個人ファイルを充実させ、皆で共有している	○	アセスメントを充実させたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく一人ひとりの状況が理解できるよう職員の質の向上と話し合いを大事にしている</li> <li>・日々個人目標を作って達成に努力している</li> <li>・日々の記録をしっかりしている</li> </ul>	○	モニタリングをしっかりしたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

## 2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	担当者を中心にしっかり話し合って介護計画を作成している	○	介護計画をより利用者本位にする様に検討する時間をとりたい
37	○状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・日々の評価をしっかりし、それを基に月1回ケアプランが現状に即しているか話し合っている ・新たな計画の作成が遅れている	○	見直しをきちんとし、すみやかに新たな計画を作成したい
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人の経過記録をしっかり記入している	○	介護計画にそった個別ケアの記録にしたい

## 3 多機能性を活かした柔軟な支援

39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	デイサービス、又共用型デイサービス、又自主ショートで状態、要望に応じた対応をしている		
----	--	--	--	--

## 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	緊急連絡先に警察に登録させてもらったり、消防との密な連携や、民生委員、公民館、又ボランティアなどの協力を得ている	○	利用している病院、お店などに支援をお願いしたい
----	---	--	---	-------------------------



番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	居宅介護支援センターとの連携をとっている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・運営推進委員会などで連携をとっている ・地域包括支援センターの勉強会などに積極的に参加している	○	地域包括支援センターとの連携をより深めたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	同意の上で西谷内科と医療連携の契約を結んでいる 又かかりつけ医が理事をされていて連絡が行きやすく速やかに適切な医療が受けられている		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症に詳しい西谷医師が主治医で、細めに報告、受診している 又主治医が頻繁に当ホームを訪れて利用者を診ている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	・当ホームの看護職員と西谷内科の看護師が常に健康管理をしている ・看護師ノートを作って情報の共有を計っている	○	よりわかりやすい医療ノートの作成を考えている
46	○早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	西谷内科を通じて入院先を決定し、又入院中も連絡をしっかりとっている	○	文書で整理しておきたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。	・ターミナルについては契約時、又状況に応じて繰り返して繰り返し、家族等ならびにかかりつけ医と話し合いをしている ・ご本人の意向を聞いていない	○	より具体的な話を深めて行きたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	状況に応じてかかりつけ医、家族、職員が集まってしっかり話し合っ対応している	○	対応をしっかり記録し、文書を残しておきたい
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。	住み替えのケースは少ないが、その時は時間をかけて十分話し合い準備している		

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

##### 1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重

50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	言葉かけなど時に不用意な発言がある事があり、その都度、又ミーティングの時に注意している	○	言葉かけ、記録時の言葉づかいなど職員に気をつけるよう、話し合いを繰り返したい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	声かけをしっかりし、ゆっくり待つように話し合っているが不十分である	○	・職員の都合を優先しないよう話し合っ徹底したい ・本人の意見を聞く場を作りたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそっで支援している。	希望を引き出すよう努力しているが引き出せてないが、個を大切に支援は常に考えている	○	ミーティングなどで話し合っ職員意識を変えていきたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	身だしなみは気をつけているが、本人の望むものにはなっていない。カットは美容師さんに来てもらっているが希望があったら行くようにしている	○	おしゃべりの中などから本人の好みなど聞きながらおしゃれに気をつけたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者の高齢化のため限られているが、少しずつ取り組んでいる	○	もっと積極的に関わっていただく様に声かけ、準備をしたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	健康面に問題がある方が多く、制限があり楽しみが少なくなっている	○	利用者の意向を大切にして健康面に留意しつつ、出来る支援を考えたい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個人の排泄パターンを把握し、布パンツを出来るだけ使用するようにしている。個々に応じてトイレ誘導している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	曜日や時間帯はほぼ決まっているが、希望があれば変更し、無理強いを決してしないようにしている	○	入浴を楽しめるような備品の整備、声かけなど心がけたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	時々状況を変え、個人の状態を考えながら自由に横になってもらっている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	--------------------	---------------------------------

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

59	○役割, 楽しみごと, 気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように, 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割, 楽しみごと, 気晴らしの支援をしている。	入居者の方が、高齢の方が多く、楽しめる内容が限られてきているが出来るだけしてもらっている	○	一人ひとりの楽しみや、やりがいをもっと多く見つけたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望があればお金の所持や使うことを支援したいが、希望がない		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	高齢化により外出をおっくうがられ、戸外に出掛けることが少なくなっているため、目標に合わせて楽しく外出するよう支援している	○	近所への散歩を日常化したい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	入居者の希望などを生活歴やおしゃべりの中から聞き出し、それを参考に外出しているが、不十分である	○	外出の楽しさを実感してもらおうよう取り組みたい。いろんな所や少し遠くへも行ってみたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話をかけてもらったり、年賀状を出したりしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽に訪問できるよう雰囲気気をつけている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティングの時の話し合い、又手引きを皆に読んでもらったり全員認識している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵をかけず、しっかり見守りするよう努力している		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個人の体調を把握し、職員同士情報を共有し、しっかり見守りをしている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状態に応じて対応しているが異食などあり対応に苦慮している	○	入居者の思いを大切にしつつ、保管、管理する方法を考えている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	救急マニュアルの作成とともに日常も話し合っている。研修にも参加し、他の職員にも伝えている		
70	○急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期期に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な訓練は行っていないが、常に話し合い情報を共有している</li> <li>・転倒ノートを作成している</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練を行っていききたい (年1～2回)</li> <li>・毎日ミーティングでヒヤリハット事例を報告している</li> </ul>

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	・消防訓練は定期的に行っている。地域の方々の協力は得られている ・学区の消防訓練に参加している		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	家族の方とはしっかり話し合っている	○	家族とのコミュニケーションを密にしていきたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	定期的にバイタルを取り、体調の変化に気をつけている。記録申し送りで情報を共有し、西谷内科へすみやかに報告している 看護職員が常に体調に気をつけている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個人の服薬情報をケース記録にきちんと記録している。又変化のある時も同様にしている	○	・定期的に確認していきたい ・医療ノートを充実させたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	・水分をこまめに摂ってもらい、又食事の内容を気をつけ、体を動かしてもらおうよう努力している。 ・薬にたよらず、飲食物の工夫をしている ・朝、ヨーグルトを食べてもらっている	○	体を動かす働きかけがしたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	起床時、朝、昼、夕、口腔ケアをしっかりしている 歯科医との連携を密にしている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士さんの作成された献立表をベースにその時、その人に応じた食事内容、形態に心がけている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。 (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染マニュアルがあり、手洗いを徹底している</li> <li>・インフルエンザ予防接種は入居者、利用者全員している</li> <li>・手すり、トイレ、風呂の消毒を習慣化している</li> <li>・お茶でうがいをしてもらっている</li> </ul>	○	職員の体調管理を徹底したい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥機の使用、ハイターの使用など衛生管理をしっかりとしている</li> <li>・手作りを原則とし、新鮮なものを調理し、食べ切るようにしている</li> </ul>		
<p>2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	入りやすいように玄関を開放している		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	音、光、臭いには十分気をつけている。又季節の花や飾りで飾っている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	椅子の位置など工夫している。狭いため、一人でゆっくりできる場所が少ないし、くつろげる空間になっていない	○	・他の人を見ながら一人でゆっくりできるスペースを考えている ・皆でゆっくりくつろげる場所作りを考えている
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	町の中にあるため居室が狭く、好みの居室になっていないが、居心地よく過ごせるよう職員が気を配っている	○	居室の整備を充実したい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空調には十分気をつけている 加湿器を利用したり、乾燥には気をつけている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	設計の段階から十分配慮されている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	混乱し、失敗があればすぐに対応している わかりやすいよう照明、配置にも気をつけている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	町の中なので、外周りやベランダへ出るのがむずかしい	○	ベランダへ自由に出られる様に工夫したい



V サービスの成果に関する項目

88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	○	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	○	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。	○	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	○	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	○	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。	○	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない

95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	○	① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	○	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	○	① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている。	○	① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらい ③ 家族等の1/3くらい ④ ほとんどできていない

※           は、外部評価との共通項目